

夏期スクーリングに参加して

通信教育コース 中津 恭子

十年ほど前に中国北京に暮らした時、年配の方も若者も皆が「これは身体を温めるよ」喉が痛いなら「これを食べて」と食物を「薬」として認識していたことに驚かされました。

その後中医薬膳への興味は尽きませんでした。その難しさと奥深さに躊躇していた数年間。今年四月、海外にいても通信で学ぶことができる本草薬膳学院の門を叩きました。

中医学独特の概念や難しい言葉の数々は、一人教科書に向かっている時には掴みづらいものでしたが、辰巳先生、平尾先生の丁寧な講義をお聞きしていると、自然とずつと頭に入ってきました。また、松本先生の調理実習はとても楽しく、講義後ということもあり食薬や中薬の効能を実際に意識しながら、その想像以上の美味しさに目から鱗の経験でした。

受講後は「もつと知りたい！」という気持ちも増し、学習不安も随分解消されたような気がします。

改めて、お世話になりました先生方、事務局の方、ご一緒した学習仲間の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は韓国ソウルから課題を提出しておりますが、今回のスクーリングで遠くフランスやベトナムで勉強されている方にも出会え、また日本全国に同じ目標を持った学習仲間がいることに大変励まされています。孤独になりがちな通信学習ですが、今回の貴重な経験を糧に今後も卒業にむけて学習を進めていきたいと思えます。



「8月11日・北海道」

通信教育コース 野澤 崇志

謹白 ナナカマドの葉が色づきはじめ、夜風に秋の気配が深まりゆく今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。夏期スクーリングから2週が経ち、3日間の出来事を思い返しながら筆をとっています。スクーリングの3日間は、私にとって、とても貴重な体験となりました。

劉先生の中医臨床や中国国内のお話や、平尾先生の薬膳処方に関する実践的なお話、調理に際しての松本先生の目配せ・采配など、実際にお会いして見聞きしなければ分からなかったと思いますし、何より、学友の皆さまの顔を見られたことがとても励みになりました。通信教育コース在籍の皆さまの顔は、それぞれ中医薬膳学の習熟度が異なる中、いずれ根を下ろされた地域で指導的な立場になられるであろう風格を、既に備えているように見えました。唯一の男性参加者である私の顔が、どのように映ったかは分かりませんが…。

さて、スクーリングの3日間で感じたことは、中医薬膳学に限ったものではありませんでした。学院近くを散歩して回りますと、十勝豚や幌加内蕎麦、札幌スープカレー等、地元北海道の食が頑張っている姿を見ることができました。きっと、お集まりになった皆さまも、フランス(アルプス)からベトナム、韓国、国内では北海道から鹿児島まで、お住いゆかりの食が国境を越えて活着ていることを、滞在中ご覧になっていたのではと考えます。世界中には数多くの食文化があり、薬膳の知恵はそれをより豊かなものに変える力がある。そんなことを考えながら帰路につき、瞬く間に2週が過ぎています。

3日間の夏期スクーリングは、本当に貴重な体験でした。お世話になった皆さまのご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。この場をお借りして御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

謹上



書籍紹介・1

「女性力を高める薬膳ごはん」

～心とからだを元気にする養生の知恵～

鳥海 明子 (著) 邱 紅梅 (監修)

発売日: 2013/3/19

定価: 1,596 円(税込)

出版社: マイナビ

鳥海 明子さん

(2007 年

中医薬膳師コース卒業)



全国の書店、またはネットショップで購入可能です。